

# 国民年金第3号被保険者該当(遡及)申立書

① 第3号被保険者(申立者)	基礎年金番号	—		
	氏名		生年月日	昭和 年 月 日
	住所			
	職業		収入(年間推計)	円
② 配偶者	基礎年金番号	—		
	氏名		生年月日	昭和 年 月 日
	住所(別居の場合)		勤務先名称	
③ 第3号該当年月日	昭和 年 平成 年 月 日			
④ 被扶養者となった理由(該当する箇所を○で囲んで下さい。)	1、婚姻(昭和・平成 年 月 日) 2、退職(昭和・平成 年 月 日) 3、給付金等の受給終了(失業給付・出産[傷病]手当金) 受給期間( 年 月 日～ 年 月 日) 日額 _____ 円 4、収入の減少 5、その他( )			
③・④の確認書類の添付	有 (戸籍・退職証明・課税(非課税)証明・その他 _____)   無			
⑤ 該当年月日から届出日までの扶養の状態  * 事業主・民生委員など第三者の状況確認	◎ 「 年 月 日～ 年 月 日」の期間については、届出が遅れましたが(無職無収入・月額収入 _____ 円)であり、事実上配偶者に扶養されていた事を申立てます。  ◎ 「上記の申立期間において、申立者は配偶者に生計維持されている事について状況を確認致しました。」 平成 年 月 日 住所 _____ 氏名 _____			
⑥ 届出が遅延した理由(該当する箇所を○で囲んで下さい。)	ア、健康保険で扶養家族として認定されていたので、自分で第3号の手続きが必要ないと誤解していた。 イ、当時、パート等として働いていた勤務先で、厚生年金等に参加してるとは知らず、第3号の資格が継続していると思っていた。 ウ、配偶者の転職・退職の際、自分の年金に関する届出が必要であると知らなかった。 エ、その他(具体的に記入して下さい。)			

上記のとおり相違ないことを申し立てます。

申立(届出)年月日

平成 年 月 日

申立者氏名(第3号被保険者)

社会保険事務所長 殿

印

\* 押印は本人が署名(自署)する場合は必要ありません。